

「賀川豊彦のお宝発見」 その3

新聞記事にみる賀川豊彦 (3)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第3回 二つの「貧民救済音楽会」

1917 (大正6) 年10月19日「大阪朝日新聞神戸付録」

「イエス団医院設立のための音楽会」が、10月20日夜、神戸の青年会館で開催される予告記事。

● 貧民救済音楽会
神戸葺合新川貧民窟の改善に盡力せる賀川豊彦氏は今回同事業の為イエス團醫院を設立したるが右資金を得るため二十日午後七時半下山手通り青年會館に慈善音樂會を開催すべく番組左の如し (入場料一圓、五十錢、三十錢、二十錢)

● 貧民救済音楽会

神戸葺合新川貧民窟の改善に尽力せる賀川豊彦氏は今回同事業の為イエス團醫院を設立したるが右資金を得るため二十日午後七時半下山手通り青年會館に慈善音樂會を開催すべく番組左の如し (入場料一圓、五十錢、三十錢、二十錢)。

◎第一部

▲開会の辞▲ピアノ、ヴァイオリン四部合奏（遠藤和一、矢野八重子、永野善三郎、小田越男）イ、隔座の詩人 ゴッシャルク作、ロ、アリスよ、なれはいづこぞ、アッシエル作、ハ、オーケストラ、トリオの五番スタミッツ作品一番の五▲クラリネット独奏 長尾戊治▲ヴァイオリン独奏 矢野八重子（ピアノ伴奏 小田越男）バツスダの子孫（ハンガリアン）キイラベラ作品百三十四番の二

◎第二部

▲ピアノ独奏 オーストルーム氏 ヴァイオリン独奏 遠藤和一（ピアノ伴奏 小田越男）露西亜音楽数曲

◎第三部

▲セロ独奏 竹内平吉（ピアノ伴奏 小田越男）一、未定 二、未定 ▲ヴァイオリン独奏 遠藤和一（ピアノ伴奏 小田越男）グリーダ、ワイアー、ロエーメー サラサーアの随作音楽数曲

★ 第一部

● 開会の辞

☆ ♪ ピアノ、ヴァイオリン四部合奏（遠藤和一、矢野八重子、永野善三郎、小田越男）

イ、??の詩人ゴッシャルク作、ロ、アリスよ、なれはいづこぞ、アッシエル作、ハ、オーケストラ、トリオの五番スタミッツ作品一番の五

☆ ♪ クラリネット独奏 長尾戊治

☆ ♪ ヴァイオリン独奏 矢野八重子（ピアノ伴奏 小田越男）バツスダの子孫（ハンガリアン）キイラベラ作品百三十四番の二

★ 第二部

☆ ♪ ピアノ独奏 オーストルーム氏 ヴァイオリン独奏 遠藤和一（ピアノ伴奏 小田越男）露西亜音楽数曲

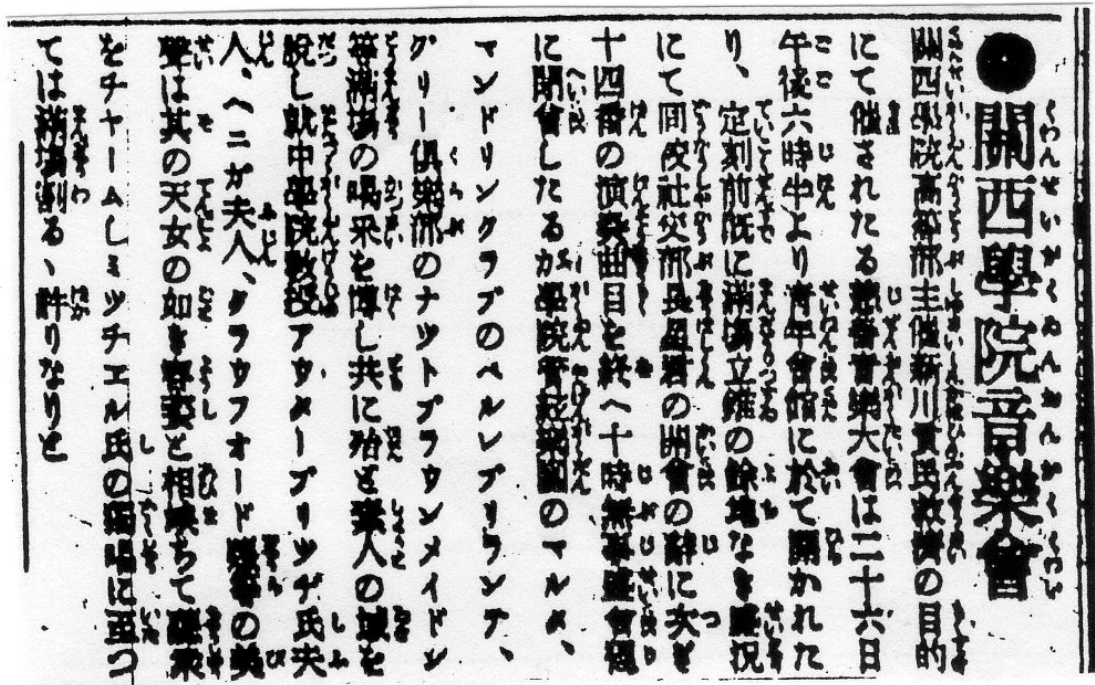
★ 第三部

☆ ♪ セロ独奏 竹内平吉（ピアノ伴奏小田越男）一、未定 二、未定

☆ ♪ ヴァイオリン独奏 遠藤和一（ピアノ伴奏 小田越男）グリーグ、ウィーア、ヒューバー、サラサーテの傑作品数曲。

1918（大正7）年1月28日「大阪朝日新聞神戸付録」

関西学院高等部主催による「新川貧民救済のための慈善音楽大会」が1月26日に神戸の青年会館で開催され、その時の記事である。



● 関西学院音楽会

関西学院高等部主催新川貧民救済の目的にて催されたる慈善音楽大会は二十六日午後六時半より青年会館に於いて開かれたり、定刻前既に満場立錫の余地なき盛況にて、同校社交部、長星君の開会の辞に次ぎ十四番の演奏曲目を終へ、十時無事盛会裡に閉会したるが学院管弦楽団のマルタ、マンドリンクラブのベルレプリランテ、グリー倶楽部のナットブラウンメイドン等満場の喝采を博し共に殆ど素人の域を脱し就^{なかんすく} 中学院教授アウターブリッジ氏夫人、ヘニガ夫人、クラウフォード嬢等の美声は其の天女の如き容姿と相俟って聴衆をチャームしミッチェル氏の独唱に至っては満場割るゝ許りなりと。

（2011年3月12日記す。鳥飼慶陽）